目次

プロローグ――満州柳条湖鉄道爆破 ―― 5

第一章　満州事変への道 ―― 23

1　昭和初期政党政治と陸軍 ―― 24
2　張作霖爆殺事件後の政治と宇垣派の陸軍掌握 ―― 42
3　一夕会の形成 ―― 59

第二章　満州事変の展開――関東軍と陸軍中央 ―― 89

1　柳条湖事件までの陸軍中央 ―― 90
2　関東軍の軍事行動と陸軍中央の内訌――宇垣派首脳部と一夕会 ―― 113
3　満州統治をめぐる対立――独立自治政権か独立国家か ―― 133

第三章　満州事変をめぐる陸軍と内閣の暗闘　141
1　朝鮮軍独断越境と若槻内閣　142
2　内閣・陸軍首脳部関係の安定化と国際環境　160
第四章　満蒙新政権・北満侵攻・錦州攻略をめぐる攻防　173
1　満蒙独立新政権の問題　174
2　北満進出と錦州攻撃をめぐる対立　191
第五章　若槻内閣の崩壊と五・一五事件　217
1　若槻民政党内閣の総辞職――安達内相による倒閣　218
2　犬養政友会内閣の成立と荒木陸相の就任――陸軍における権力転換　227
3　五・一五事件の衝撃――政党政治の終焉　254
4　国際連盟脱退と熱河作戦　266

第六章　永田鉄山の戦略構想――昭和陸軍の構想　273
1　国家総力戦認識と国家総動員論　274
2　常備兵力と戦闘法　291
3　国際連盟批判と次期大戦不可避論　300
4　資源自給論と対中国政策　306
第七章　石原莞爾の戦略構想――世界最終戦論　317
1　世界最終戦争と満蒙　318
2　満蒙領有と日米持久戦争　328
3　対米持久戦争計画について　333
4　永田構想と石原　348
エピローグ――満州事変から日中戦争・太平洋戦争へ　356
参考文献　364
あとがき　375